

入試チャレンジ | 整序・語形変化(公立入試タイプ別)

整序・語形変化 No.3(比較・分詞・関係代名詞)

L1 標準

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L1(都立共通・神奈川の共通問題レベル)	目標時間:15分	満点:100点(自己採点)
--------------------------	----------	---------------

今日は「名詞を後ろから説明する」文法が中心。関係代名詞・分詞・間接疑問——長い文を組み立てる力は、読解のスピードにも直結します。

設問 場面に合う正しい英文を作ろう。並べかえの問題は、3番目と5番目に来るものの組み合わせを選ぶ。

問1(15点) 次の対話の()内の語を、最も適切な形にしたものはどれか。 A: Which subject do you like? B: English. It is(easy)for me than math. ア more easy イ easiest ウ easier エ easy	()
問2(15点) 次の対話の()内の語を、最も適切な形にしたものはどれか。 A: Look at the(sleep)cat on the sofa. It's so cute! B: Ha-ha. That's my cat, Mochi. ア slept イ sleeping ウ sleeps エ to sleep	()
問3(15点) 次の日本文に合うように[]内の語(句)を並べかえると、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「彼は私たちに英語を教えてくれる先生です。」 He is [a teacher / who / teaches / us / English]. ア 3番目:who / 5番目:us イ 3番目:us / 5番目:teaches ウ 3番目:English / 5番目:who エ 3番目:teaches / 5番目:English	()
問4(15点) 次の日本文に合うように[]内の語(句)を並べかえると、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「私の夢は医者になることです。」 My dream [is / to / become / a / doctor]. ア 3番目:become / 5番目:doctor イ 3番目:to / 5番目:a ウ 3番目:a / 5番目:become エ 3番目:doctor / 5番目:to	()
問5(20点) 次の日本文に合うように[]内の語(句)を並べかえると、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「彼が今どこに住んでいるか知っていますか。」 Do you [know / where / he / lives / now]? ア 3番目:where / 5番目:lives	()

イ 3番目:lives / 5番目:he ウ 3番目:he / 5番目:now エ 3番目:now / 5番目:where	
---	--

問6(20点) 次の日本語に合うように[]内の語(句)を並べかえるとき、3番目と5番目に来るものの組み合わせはどれか。 「音楽を聞くことは、私を幸せにしてくれます。」 [Listening / to / music / makes / me] happy. ア 3番目:makes / 5番目:music イ 3番目:music / 5番目:me ウ 3番目:to / 5番目:makes エ 3番目:me / 5番目:to	()
---	-----

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 次のページの解説で自己採点 → 得点(/100点) まちがえた問題こそ宝。解説の「誤答の切り方」まで読むと、次の1枚で点が変わる。

解答一覧(まず自己採点)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	得点
ウ	イ	エ	ア	ウ	イ	/100

問1 正解 **ウ**(15点) | **than** を見たら比較級——短い形容詞は **-er**

根拠 文末に **than math**(数学より)があるので比較級。**easy** は短い形容詞なので **-er** 型=**easier**(**y** → **ier**)。**It is easier for me than math.**

誤答の切り方

ア	easy は短い形容詞なので more はつけない。 more easy は定番の誤り。
イ	easiest (最上級)は「3つ以上の中でいちばん」。 than とセットにならない。
ウ	easier —— y を i に変えて -er 。 than と正しくセットになる。
エ	easy のままでは比較にならない。 than が余ってしまう。

🔑 この形式のコツ **than** が見えた瞬間に「比較級」を確定→次に「短い語は **-er**／長い語は **more**」の2択。**y** で終わる語(**easy** / **happy** / **early**)は **y→ier** の変化も忘れずに。

問2 正解 **イ**(15点) | 名詞の前の()は「～している／～された」の判定

根拠 ()は **cat** という名詞を説明する位置。**ネコ**は「眠っている」側(する側)なので現在分詞 **sleeping**。**the sleeping cat**=眠っているネコ。

誤答の切り方

ア	slept (過去分詞)だと「眠られたネコ」になり、意味が通らない。
イ	sleeping ——ネコが自分で眠っている(する側)=現在分詞。
ウ	sleeps (3単現)は動詞の形。名詞の前には置けない。
エ	to sleep (不定詞)も名詞の前の説明には使えない。

🔑 この形式のコツ 名詞の前後の()は「その名詞が**する側**なら **～ing**、**される側**なら**過去分詞**」。**sleeping cat**(眠るネコ)／**broken window**(割られた窓)を代表例として覚えておく。

問3 正解 **エ**(15点) | 関係代名詞は「名詞+who+動詞…」の順にドッキング

根拠 完成文=He is a teacher who teaches us English. 並び=①a teacher ②who ③teaches ④us ⑤English。「先生」+「その人は私たちに英語を教える」を who でつなぐ。teach は「教える+人+物」の順。

誤答の切り方

ア	who が3番目になるのは a teacher が先頭でない並び。説明される名詞が先。
イ	us が teaches より先には来ない。動詞→人→物の順。
ウ	English が3番目では文の後半が組めない。
エ	a teacher → who → teaches → us → English。3番目 teaches・5番目 English。

 この形式のコツ 関係代名詞の整序は「①説明される名詞 ②who/which/that ③動詞…」の順で後ろにドッキング。日本語は「教えてくれる→先生」の順だが、英語は必ず「先生→教えてくれる」——逆順を体にしみこませる。

問4 正解 **ア**(15点) | 「～すること」=to+動詞(名詞の働きの不定詞)

根拠 完成文=My dream is to become a doctor. 並び=①is ②to ③become ④a ⑤doctor。「私の夢=医者になること」を is でつなぎ、「なること」を to become で表す。

誤答の切り方

ア	is → to become → a doctor。3番目 become・5番目 doctor。
イ	to が3番目になるのは is の直後に別の語をはさんだ並び。
ウ	a が become より先には来ない。become a doctor のかたまり。
エ	doctor が3番目では to become とつながらない。

 この形式のコツ 「AはBすることです」は「A is to+動詞」の型。to 不定詞には「～するために」(目的)だけでなく「～すること」(名詞)の顔もある——is の直後の to は名詞の顔。

問5 正解 ウ(20点) | 間接疑問は「疑問詞＋主語＋動詞」——ひっくり返さない

根拠 完成文=Do you know where he lives now? 並び=①know ②where ③he ④lives ⑤now。文の中に入った疑問文は〈where＋主語＋動詞〉の順になり、does は消えて lives に s が残る。

誤答の切り方

ア	where の直後に lives が来るのは Where does he live? のまま入れた誤り。中では主語が先。
イ	lives が he より先には来ない。〈疑問詞＋主語＋動詞〉。
ウ	know → where → he → lives → now。3番目 he・5番目 now。
エ	now が3番目に入りこむと疑問詞のかたまりが切れる。

🔑 この形式のコツ 間接疑問は「疑問文が文の中に入るとふつうの語順にもどる」——Where does he live? → know where he lives。does が消えて動詞に s が移る変化までがワンセット。

問6 正解 イ(20点) | 動名詞のかたまりが主語——makes は3単現

根拠 完成文=Listening to music makes me happy. 並び=①Listening ②to ③music ④makes ⑤me。主語=Listening to music(音楽を聞くこと)という動名詞のかたまり。かたまり全体で単数扱いだから makes。〈make＋人＋形容詞〉＝人を～にする。

誤答の切り方

ア	makes が3番目だと主語のかたまり(Listening to music)が切れる。
イ	Listening to music → makes → me。3番目 music・5番目 me。
ウ	to が makes の直前に来る並びでは「聞くこと」が完成しない。
エ	me が3番目では makes より先に目的語が来てしまう。

🔑 この形式のコツ 動名詞主語の整序は「①～ing のかたまりを最後まで作る ②動詞(3単現)③残り」。主語が長い文は、かたまりを[]でくくる感覚を持つと、makes の位置がすぐ見える。

今日の文法メモ——まちがえた問題の型をここで確認

問1	比較級——than を見たら -er/more の2択(y→ier に注意)
問2	分詞の前置き——する側は ～ing・される側は過去分詞
問3	関係代名詞——名詞のあとに who＋動詞をドッキング
問4	to 不定詞(名詞)——「～すること」の顔
問5	間接疑問——文の中ではふつうの語順にもどる
問6	動名詞主語——かたまり全体で単数扱い

もう一段のぼる L1の整序3枚で「かたまり」「境界線」「ドッキング」の3技が完成。L2では関係代名詞の省略・仮定法・原形不定詞——高校入試の最難関の型に挑む。

先生向け・運用ノート チャレンジ棚・常学習用(15分＋自己採点)。問5の間接疑問は都立・神奈川とも頻出——「does が消えて s が残る」を板書で1回見せると定着が速い。配点は問1～4各15点・問5～6各20点。